

5 製造業の生産額

製造業の県内生産額について、構成比の最も大きい業種は化学製品で23.3%を占め、次いで生産用機械10.6%、非鉄金属8.8%、電子部品8.6%、金属製品8.0%の順となっている。

製造業の県内生産額を37部門表により19部門で見ると、化学製品が867,332百万円(23.3%)と最も大きく、次いで生産用機械(394,272百万円、10.6%)、非鉄金属(328,242百万円、8.8%)、電子部品(317,867百万円、8.6%)、金属製品(297,450百万円、8.0%)の順となった。

平成23年との比較では、化学製品、飲食品、はん用機械などでウエイトが高くなり、非鉄金属、生産用機械、鉄鋼などでウエイトを落としている。

製造業の県内生産額をさらに細かく107部門表により55部門で見ると、医薬品が673,835百万円(18.1%)と最も大きく、次いで生産用機械(394,272百万円、10.6%)、建設用・建築用金属製品(239,215百万円、6.4%)、非鉄金属加工製品(202,210百万円、5.4%)の順となった。

また、特化係数は、医薬品(7.78)で最も大きく、次いで建設用・建築用金属製品(4.60)、化学繊維(4.19)、非鉄金属加工製品(3.09)、化学肥料(3.00)の順となった。

これらのことから、生産額、特化係数がともに大きい医薬品、建設用・建築用金属製品、非鉄金属加工製品が平成27年の富山県製造業の特徴ある産業といえる。

図1 製造業の部門別生産額の構成比

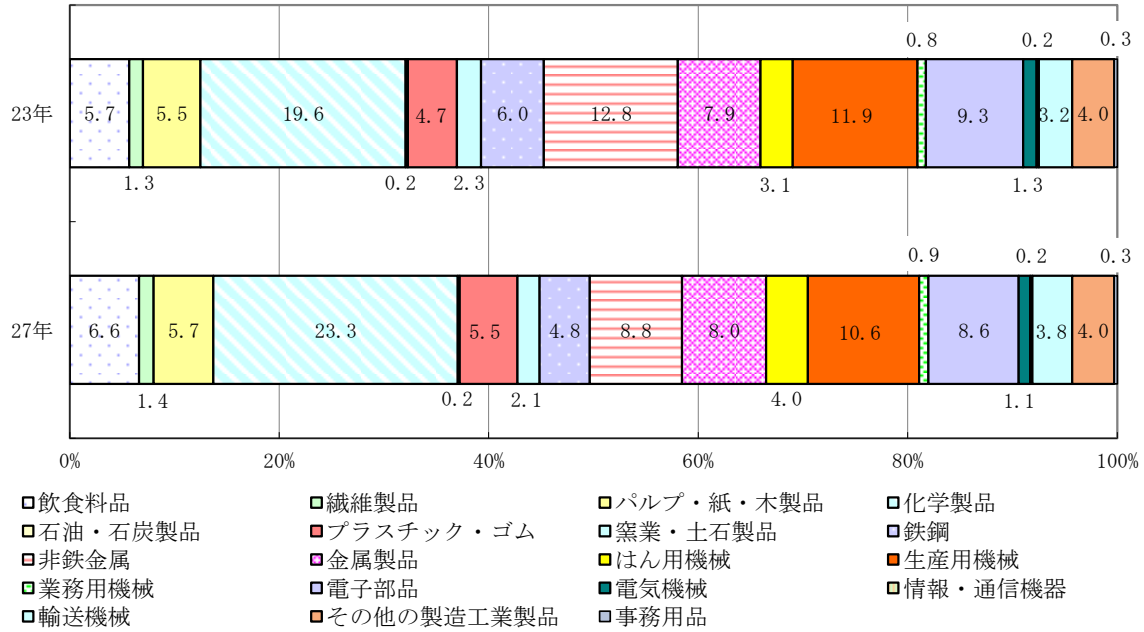


図2 製造業の部門別生産額・特化係数

